

新千歳空港国内線旅客ターミナルビル 施設整備工事の実施について

北海道空港株式会社は、新千歳空港国内線旅客ターミナルビルの施設整備工事を本日（平成27年3月16日）より着手致します。

平成4年の新千歳空港旅客ターミナルビル供用開始以来、現在の国内線旅客数は当時より約300万人増の年間1700万人台に達し、就航便数・旅客数の増加により、施設が狭隘化しております。

また、出発カウンターや出発手荷物荷捌場等の空港機能施設については、新規航空会社の参入や格安航空会社（LCC）の相次ぐ就航、ハイジャック事件に端を発するセキュリティの強化、また昨今の航空会社における旅客サービスの多様化などの環境の変化に対応するため、施設を改修する必要性が生じて参りました。

そこでこの度、施設の狭隘化解消と空港機能施設の機能向上に加え、保安防災の強化やバリアフリー化等への対応など、施設の安全性と利便性の向上を目的とした、より使いやすい旅客ターミナルビルを目指し、施設整備工事を実施致します。

1. 概 要

- (1) 工 事 名 称 : 新千歳空港国内線旅客ターミナルビル施設整備工事
- (2) 設 計 ・ 施 工 : 清水・東急・戸田・岩田地崎・橋本川島・萩原共同企業体
 - 代表企業 清水建設株式会社
 - 構 成 者 東急建設株式会社
 - 戸田建設株式会社
 - 岩田地崎建設株式会社
 - 株式会社橋本川島コーポレーション
 - 萩原建設工業株式会社
- (3) 施 工 期 間 : 平成27年3月 ～ 平成30年3月（予定）
- (4) 施 工 範 囲 : 国内線旅客ターミナルビル1階、2階、3階
- (5) 事 業 費 : 約200億円
- (6) 整備対象面積 : 約47,000㎡
(※現状の国内線旅客ターミナルビル約173,000㎡のうち)

2. 施設整備工事の内容

国内線旅客ターミナルビル1階（到着）及び2階（出発）における空港機能施設を中心に以下内容の整備を実施致します。

- （１）狭隘化している出発ロビー・搭乗待合室（制限エリア内の出発待合室、バスラウンジ等）を拡充・整備致します。
- （２）航空会社の出発カウンター・出発口を拡充・再配置致します。
- （３）受託手荷物検査はセキュリティを強化するため、インライン方式(※)と致します。

※インライン方式：出発カウンターにて旅客から手荷物を受託後に検査を行う方式で
現国際線旅客ターミナルビルにおいて既に導入しております。

- （４）その他、保安防災の強化等に対応した整備を行います。
 - ・航空機へのお客と到着客の動線を分離する通路を整備し、セキュリティを強化する
 - ・カウンターやロビー前の天井部を補強し、耐震性能を強化する
 - ・スプリンクラーの設置数を拡充する
 - ・トイレや授乳室などのユーティリティ施設を誰でも使いやすく整備する

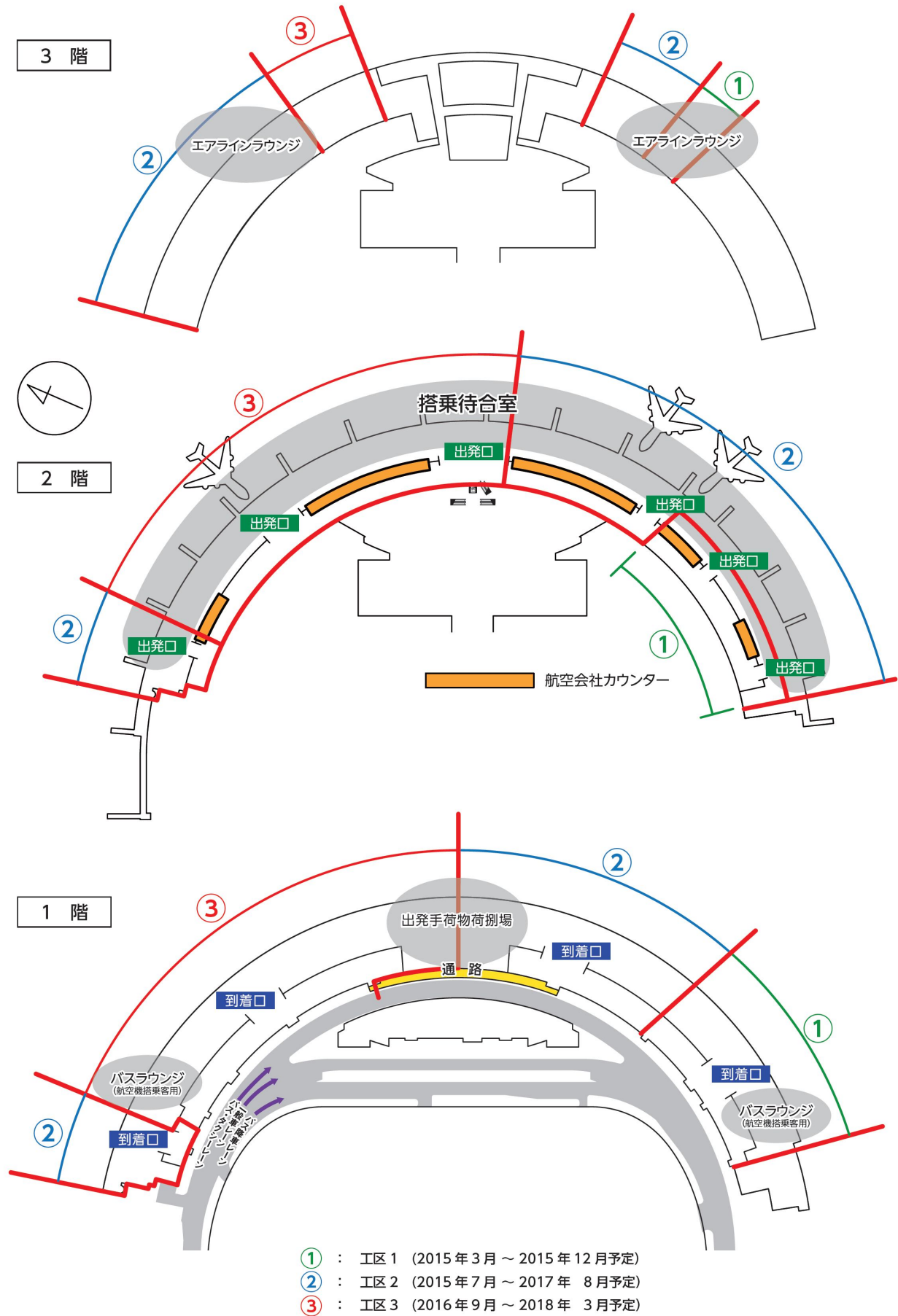
3. 工事スケジュール

平成27年3月～平成30年3月（予定）の期間において、既存ターミナルビルを運用しながらの工事となることから、工事エリアを区分（工区1～3）し南側から実施致します。（各工区の工事範囲については事項「4. 工事概要図」をご参照ください。）

項目	平成 26 年度 (2014 年度)				平成 27 年度 (2015 年度)				平成 28 年度 (2016 年度)				平成 29 年度 (2017 年度)			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月
工区 1 【主な工事内容】 ・航空会社カウンター・出発口 ・南側エアラインラウンジ ・南側バスラウンジ																
工区 2 【主な工事内容】 ・航空会社カウンター・出発口 ・北側エアラインラウンジ ・南側出発手荷物荷捌場																
工区 3 【主な工事内容】 ・航空会社カウンター・出発口 ・北側出発手荷物荷捌場 ・北側バスラウンジ																

4. 工事概要図

※図は施設整備工事後を示しています。



5. その他

工事期間中は通常の運用を行いつつ工事を実施することから、当空港ご利用のお客様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

以 上

【問合せ先】

北海道空港株式会社

企画部 秘書広報課 担当：長谷川、白川

(TEL) 0123-46-5112

(FAX) 0123-45-8600